

# 第2次静岡県循環器病対策推進計画の 素案について

1

## 第2次静岡県循環器病対策推進計画の素案

### 作成経過

○第1回部会、協議会での御意見等を踏まえて、「保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実」（P30～）を記載



①県関係課に意見照会を行い、意見を踏まえて、追記、修正等を実施



②各部会委員からの御意見を踏まえて、追記、修正等を実施



③保健医療計画等と整合を図り、追記、修正等を実施

2

## ①部会前に追記、修正等を行った主な内容（全体）

	ページ	内容	理由
1	全体	年月日の記載を西暦に統一しました。	県保健医療計画の記載が西暦のため統一しました。
2	全体	関係数値を更新しました。	最新値が公表されたため、更新しました。
3	P19	特定健診・特定保健指導の現状について追記しました。	記載場所を移動し、関連事項を追記しました。
4	P25	歯周病と循環器病の関係について以下のとおり追記しました。 「歯周病患者は口腔が健康な人に比べて1.2倍循環器疾患を発症しやすいことが明らかになっています。特に、脳卒中のリスクは1.24倍、冠動脈疾患のリスクは1.14倍高いことが示されています。」	エビデンスが示されたため、追記しました。
5	P58	他の疾患等に係る対策との連携を追記しました。 「循環器病は、合併症・併発症が多く、病態が多岐にわたる。このため、特に腫瘍循環器や悪性新生物（がん）に関する「第4次静岡県がん対策推進計画」における関連施策や、発症予防や重症化予防の観点から「静岡県糖尿病等重症化予防対策検討会」の腎疾患対策等の施策と連携して取り組んでまいります。」	国計画に追加されたため、具体的に追記しました。

3

## ①部会前に追記、修正等を行った主な内容（脳卒中）

	ページ	内容	理由
1	全体	「脳出血」を「脳内出血」に統一しました。	人口動態統計に合わせて修正しました。
2	P5	脳卒中に関する説明を分野別施策から転記しました。	各疾患の概要を第2章第2節に記載することとしたため、移動しました。
3	P30	【予防・啓発】【現状と課題】 以下のとおり追記しました。 「歯周病患者では、脳卒中のリスクが1.24倍高いことが報告されています。」	歯周病と脳卒中の関係についてエビデンスが示されたため、追記しました。
4	P31	【予防・啓発】【施策の方向性】 以下のとおり追記しました。 「世界脳卒中デー（10月29日）を中心に、脳卒中に関する知識を広め、脳卒中の予防について普及啓発を図ります。」	県民向けの具体的な啓発内容がなかったため、追記しました。
5	P35	【急性期】【施策の方向性】 学校健診に関する記載を削除しました。	学校健診において、脳卒中に関する有所見の項目がないため、心血管疾患のみとしました。

4

## ①部会前に追記、修正等を行った主な内容（心血管疾患）

	ページ	内容	理由
1	P9	急性心筋梗塞に関する説明を分野別施策から転記しました。	各疾患の概要を第2章第2節に記載することとしたため、移動しました。
2	P9	不整脈、心房細動に関する記載を追記しました。	第1回協議会において、第1次計画に記載のあった心房細動が見えなくなっているとの御意見がありましたので、分野別施策のほかに、各疾患の概要の記載に記載しました。
3	P41	【予防・啓発】【現状と課題】 以下のとおり追記しました。 「歯周病患者では、冠動脈疾患のリスクが1.14倍高いことが報告されています。」	歯周病と心血管疾患の関係についてエビデンスが示されたため、追記しました。
4	P42	【予防・啓発】【施策の方向性】 以下のとおり追記しました。 「健康ハートの日（8月10日）や健康ハートウィークを中心に心臓や心身の健康について知識を広め、心血管疾患の予防について普及啓発を図ります。」	県民向けの具体的な啓発内容がなかったため、追記しました。
5	P42	【予防・啓発】【施策の方向性】 以下のとおり追記しました。 「動脈硬化は、う歯や歯周病との関連性があるため、虚血性心疾患の予防のためにかかりつけ歯科医への定期受診を勧めます。」	現状と課題への追記を踏まえて、施策の方向性にも追記しました。

5

## ①部会前に追記、修正等を行った主な内容（心血管疾患）

	ページ	内容	理由
6	P48	【急性期】【現状と課題】 以下のとおり追記しました。 「 <u>胎児診断、学校健診等の機会を通じて、小児の循環器病が見つかることがあります、それによって予後改善が期待できます。</u> 」	第1回協議会において、胎児の頃からの診断によっても予後改善が期待できるのが先天性心疾患の特徴であるとの御意見をいただいたため、修正しました。

6

## ②素案に関する部会での御意見（全体）

	ページ	意見内容	対応
1	P4	循環器病が要介護の原因として1番多いということを入れてはどうか。	以下のとおり追記します。また図表を追加します。 P4「2022年で全国において、介護が必要になった者の主な原因のうち、脳卒中が16.1%、心疾患が5.1%であり、脳卒中と心疾患を合わせた循環器病が全体の21.2%を占めています。」 （出典：国民生活基礎調査）
2	P14	循環器病対策基本法の目的として、健康寿命の延伸があるため、全体目標に「健康寿命の延伸」を記載すべきではないか。	毎年度公表されるものではなく（3年ごと）、指標としないこととしましたが、御意見を踏まえまして第1次計画に引き続き、健康寿命を全体目標として記載します。
3	P57	循環器病の研究推進の取組が記載できると良いのではないか。	最終案の協議までに各部会の委員に意見照会を行いたいと考えております。

7

## ②素案に関する部会での御意見（脳卒中）

	ページ	意見内容	対応
1	P5	以下の記載に関する修正案を提案いただきました。 「脳梗塞は、さらに、動脈硬化により比較的太い脳の血管や頸部の血管の内腔が狭くなるのが原因となり発症するアテローム血栓性脳梗塞、脳の細い血管が主に高血圧を基盤とする変化により閉塞するラクナ梗塞、心臓等に生じた血栓が脳血管まで流れ血管を閉塞する心原性塞栓症の3種類に分けられます。」	以下のとおり修正しました。 「脳梗塞は、穿通枝と呼ばれる細い血管が閉塞することで発生し、脳梗塞の大きさが15mm未満のラクナ梗塞、5～8mmの比較的太い血管がプラーク（コレステロールなどの塊）により血流が悪化し、そこに形成される血栓が原因となるアテローム血栓性脳梗塞、不整脈や弁膜症により心臓に生じた血栓（塞栓）により脳の血管が閉塞することで発症する心原性脳塞栓症の3種類に分類されます。」
2	P30	【予防・啓発】【現状と課題】 喫煙、特に副流煙の他人への健康被害に関して追記してはどうか。（心血管疾患での御意見）	以下のとおり修正しました。 「さらに、受動喫煙防止の推進も重要です。」 ↓ 「さらに、 <u>喫煙しない人であっても、受動喫煙により影響を受ける場合があるため、受動喫煙防止の推進も重要です。</u> 」
3	P30	ロジックモデルに心房細動を追記するのであれば、心房細動による脳梗塞のリスクについて追記すべきではないか。	以下のとおり追記しました。 P30「心原性脳梗塞の最大の原因は心房細動であり、心房細動がある人は、心房細動がない人に比べ、約5倍脳梗塞の発症リスクが高いことが報告されています。」

8

## ②素案に関する部会での御意見（心血管疾患）

	ページ	意見内容	対応
1	P41	【予防・啓発】【現状と課題】 喫煙、特に副流煙の他人への健康被害に関して追記してはどうか。	喫煙（受動喫煙）に関して以下のとおり追記しました。 「さらに、喫煙しない人であっても、受動喫煙により影響を受ける場合があるため、受動喫煙防止の推進も重要です。」
2	P41	【予防・啓発】【現状と課題】 「急性冠症候群を一度発症した方は、二度と罹患しないように厳格なLDLコレステロール管理が必要とされ、日本動脈硬化学会が作成した最新の動脈硬化性疾患予防ガイドラインでは目標値は70mg/dl未満とされている。」を追記してはどうか。	御意見を踏まえ、以下のとおりを追記しました。 「急性冠症候群を一度発症した方は、再発を予防するため、厳格なLDLコレステロール管理が必要とされ、「動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022」（日本動脈硬化学会）では、70mg/dL未満が目標値とされています。また、家族性高コレステロール血症、糖尿病等を合併する場合にも同様に厳格な管理が必要です。」
3	P41	【予防・啓発】【現状と課題】 上記に加え、2次予防の観点から糖尿病合併者もLDLコレステロールの70mg/dL以下が目標とされているため追記してはどうか。	
4	P42	【予防・啓発】【施策の方向性】 小児からの食育（運動、減塩）、活動度の向上などを記載してはどうか。	以下の記載により対応します。 「小中学生から禁煙、減塩、野菜摂取、口腔ケア、運動習慣等の正しい生活習慣について教育し、親世代の啓発にもつなげます。」

9

## ②素案に関する部会での御意見（心血管疾患）

	ページ	意見内容	対応
5	P46	【急性期】【現状と課題】 以下のとおり修正してはどうか。 「さらに、心不全で入院される方は、高齢化していることから、入院が長期間に渡るので、」 ↓ 「心不全で入院される方は、高齢である事も多く、入院が長期間に渡るので、」	御意見を踏まえ、以下のとおり修正しました。 「心不全で入院される方は、高齢であることも多く、入院が長期間に渡るので、」
6	P50 P52	【回復期／維持期・生活期】【現状と課題】 「先天性心疾患」を追記して以下の記載としてはどうか。 「心不全増悪の要因には、虚血性心疾患、弁膜症、 <u>先天性心疾患</u> 、心筋症等の心不全の原因となる疾患の再発や悪化、感染症、不整脈の合併等の医学的要因に加えて、塩分・水分制限の不徹底や服薬中断等の患者要因、社会的支援の欠如等の社会的要因といった多面的な原因が含まれています。」 （これから増加する年長時、成人の先天性心疾患患者の心不全（慢性、急性増悪を含む）の対応を含ませるため）	御意見のとおり修正しました。

10

## ②素案に関する部会での御意見（心血管疾患）

	ページ	意見内容	対応
7	P52	<p>【維持期・生活期】【現状と課題】 以下のとおり修正してはどうか。 「日本心不全学会の「心不全手帳」など、心不全連携パスは、各医療機関の役割分担により、心不全の患者をマネジメントするものです。」 ↓ 「日本心不全学会の「心不全手帳」や各医療機関で運用している心不全連携パスは、各医療機関の役割分担により、」に修正してはどうか。</p>	御意見のとおり修正しました。
8	P52 P53	<p>【維持期・生活期】【現状と課題】 認知症の心不全患者について、記載してはどうか。</p>	<p>以下のとおり追記します。 【現状と課題】 「高齢者人口の増加に伴い、心不全と認知症を併発する患者が増えています。」 【施策の方向性】 「医師会と連携し、各地域で認知症サポート医と市町や地域包括支援センター、介護事業所等が連絡会や研修会を行い、各地域で関係機関が相互理解を深め、認知症の人や家族への支援を一体的に行えるよう支援します。」 (保健医療計画と整合)</p>

11

## ③保健医療計画等との整合のための追記、修正等（全体）

	ページ	内容	理由
1	P19,29	<p>ACPに関する記載を追記しました。 【現状と課題】 「また、発症した場合に患者本人の意思を最大限尊重した医療・ケアの提供ができるよう、患者本人があらかじめ家族や医療・ケア関係者と話し合うACP（アドバンス・ケア・プランニング）を普及させていくことが必要です。」  【施策の方向性】 「患者本人の意思を尊重した医療・ケアの提供ができるよう、在宅医療を支える医療・ケア関係者の相談対応力の向上を図るとともに、県民に対し、ACPやリビングウィル（意思表示書）について、普及啓発を実施します。」</p>	保健医療計画と整合させた記載を追記しました。

<注釈>

ACP:Advance Care Planning 人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合い、共有する取組。厚生労働省が公募し、この取組の愛称を「人生会議」と決定した。

<リビングウィル>

リビングウィル:重病になり自分自身では判断できなくなる場合に、治療に関して自分の希望を述べておく書類。

12

### ③保健医療計画等との整合のための追記、修正等（脳卒中）

	ページ	内容	理由
1	P5	以下の記載を追記しました。 「脳卒中は、片麻痺、摂食機能・嚥下障害、高次脳機能障害、遷延性意識障害などの後遺症が残ることがあり、患者及びその家族の日常生活に大きな影響を及ぼす疾患です。」	現行の保健医療計画を踏まえて、追記しました。
3	P30～	項目の並べ替えを行いました。	現状と課題、施策の方向性が対応するよう項目を並べ替えました。

13

### ③保健医療計画等との整合のための追記、修正等（心血管疾患）

	ページ	内容	理由
1	P9	以下のとおり追記しました。 「心筋が虚血状態に陥っても壊死まで至らない前段階を狭心症といいます。」 「慢性心不全患者は、心不全の悪化による入院と改善による退院を繰り返しながら、身体機能が徐々に悪化することが特徴で、改善を図るには、薬物療法、非薬物療法、運動療法、生活指導等を含む多面的な介入を、入院中から退院後まで継続して行うことが重要です。」	現行の保健医療計画を踏まえて、追記しました。
2	P41～	項目の並べ替えを行いました。	現状と課題、施策の方向性が対応するよう項目を並べ替えました。

14